

府中市の景況 (景気観測調査3月期結果速報)

景気観測調査の概要

■調査方法

年4回(3月、6月、9月、12月)実施

郵送によるアンケート調査(回答は郵送、またはFAX)

■調査内容

1. 景況のほか、生産額・売上額などについて、令和3年3月の状況を前年同月と比較
2. 同一項目における令和3年4～6月の先行き見通しを令和3年3月と比較

■調査時期

3月

■調査対象

130社(製造業:86社、非製造業:44社)

■回収状況

回答76社(製造業:51社、非製造業:25社)

(総合58.5%、製造業:59.3%、非製造業56.8%)

徐々に改善の傾向が見られる

府中市内の3月の景況は、総合(全業種)DI(良い-悪い)が前回調査より23.9ポイントのマイナス幅縮小となった【R2.12月期▲48.9→R3.3月期▲25.0】。

製造業のDIも、マイナス幅縮小【R2.12月期▲44.0→R3.3月期▲21.6】。製造業を産業別にみても、鉄鋼・非鉄金属を除いては、全ての産業でマイナス幅縮小となった。特にマイナス幅が縮小していたのが、衣類・繊維製品で前回調査より53.8ポイントのマイナス幅縮小【R2.12月期▲53.8→R3.3月期0.0】。「昨年、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、20～30%減少したが、今年は持ち直す兆し」など前向きな意見が多かった。しかし、唯一マイナス幅が拡大する鉄鋼・非鉄金属からは「自動車業界の動向がめまぐるしく変化し、見通しがたたない」など依然厳しい状況であるとの声もあった。

非製造業のDIは28ポイントのマイナス幅縮小【R2.12月期▲60.0→R3.3月期▲32.0】。産業別にみると、建設業は46.1ポイントのマイナス幅縮小【R2.12月期▲69.2→R3.3月期▲23.1】、小売業は8.3ポイントのマイナス幅縮小【R2.12月期▲50.0→R3.3月期▲41.7】となった。小売業からは「オリンピックが開催されることから映像商品の増加が期待される」との声があった。

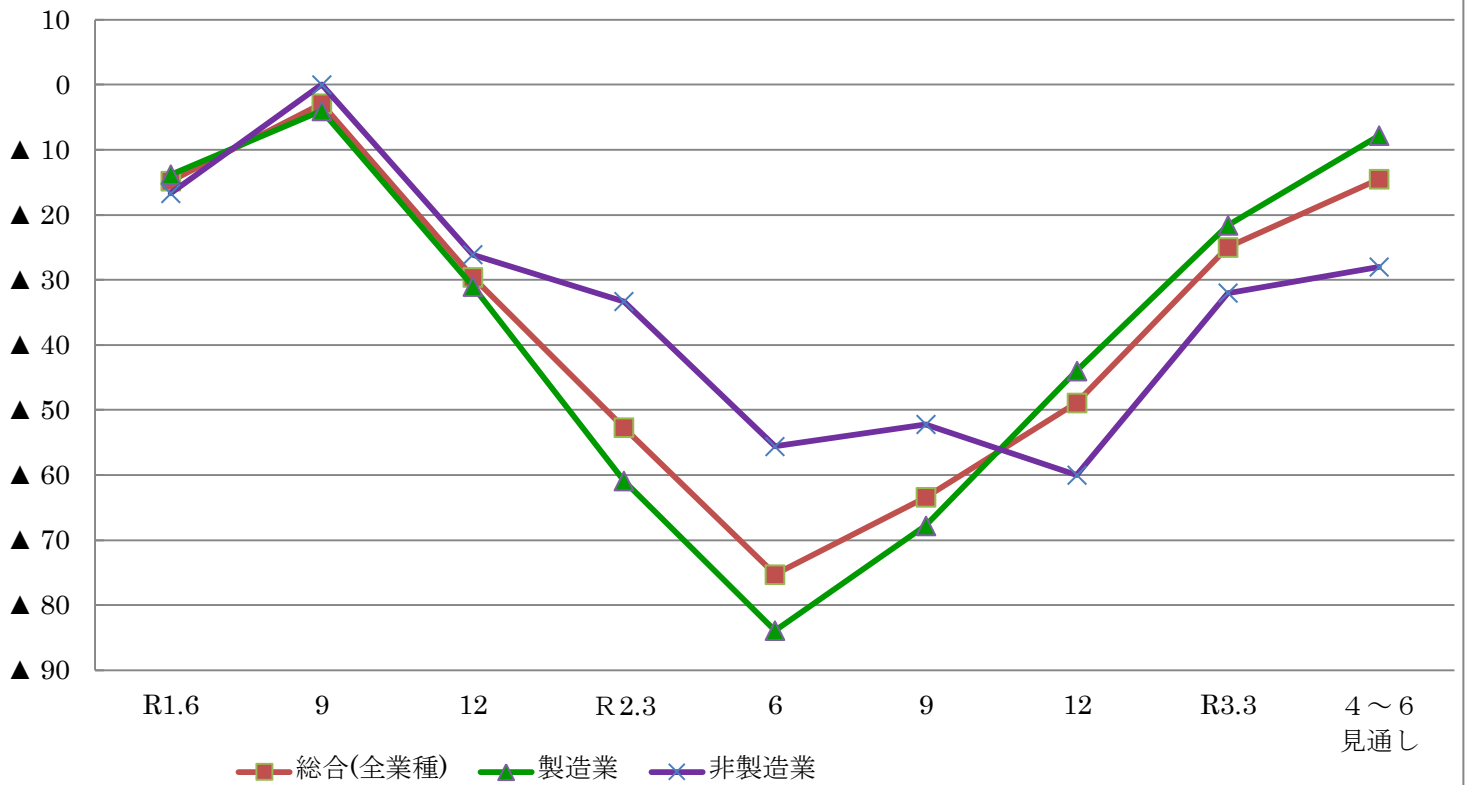
令和3年4～6月の先行き見通し

4～6月の先行きでは、総合(全業種)、製造業、非製造業全てでマイナス幅縮小となった。数字としてはどの業種でも改善するとなっているが「経済環境の悪化がまだ続く見通し」と不安な声が多い。

※DI(景況判断指数)は、「好転」とする回答割合から「悪化」とする回答割合を差し引いた値で、プラスなら強気、マイナスなら弱気などの景況感を示す。

府中市の景況感の推移

府中市の景況感の推移



業種	年月	R1.6	9	12	R2.3	6	9	12	R3.3	4~6 見通し
総合(全業種)		▲ 14.8	▲ 2.9	▲ 29.6	▲ 52.7	▲ 75.3	▲ 63.4	▲ 48.9	▲ 25.0	▲ 14.5
製造業		▲ 13.8	▲ 4.0	▲ 31.0	▲ 60.9	▲ 83.9	▲ 67.8	▲ 44.0	▲ 21.6	▲ 7.8
家具・木材製造業		▲ 21.4	▲ 18.2	▲ 26.6	▲ 43.8	▲ 87.5	▲ 85.7	▲ 53.3	▲ 36.4	▲ 45.5
繊維製品製造業		16.7	36.4	9.1	▲ 61.5	▲ 66.7	▲ 41.7	▲ 53.8	0.0	20.0
非鉄金属製品製造業		▲ 20.0	▲ 23.1	▲ 64.3	▲ 82.4	▲ 93.8	▲ 100.0	▲ 20.0	▲ 30.8	▲ 7.7
機械・金属製造業		▲ 21.4	0.0	▲ 33.4	▲ 53.3	▲ 80.8	▲ 40.0	▲ 38.4	▲ 14.3	0.0
その他		▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 33.3	0.0
非製造業		▲ 16.7	0.0	▲ 26.1	▲ 33.3	▲ 55.6	▲ 52.2	▲ 60.0	▲ 32.0	▲ 28.0
建設業		▲ 13.3	▲ 18.2	▲ 38.5	▲ 14.3	▲ 50.0	▲ 63.6	▲ 69.2	▲ 23.1	▲ 30.8
小売業		▲ 20.0	25.0	▲ 10.0	▲ 53.8	▲ 61.5	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 25.0